

—夢・大地 みんなが愛する水の里—



2016

第47号

11月21日

# とめ

## 市議会だより

「さわやかな青空のもとで」  
(きらり保育園かしの)



### 目次

9月定期議会	2
決算審査特別委員会	4
常任委員会報告	8
ここが聞きたい(一般質問)	13









氏家副委員長

# 決算審査特別委員会

## 提言して

## 認定



中澤委員長

### 一般会計

#### 歳入

Q コールセンター立地促進奨励金1億円強が未済になっている。すでに数年が経過している。これまでの経過と今後の見通しは。

A 26年7月に市独自の奨励金563万円、27年7月に震災対応人材育成成型事業委託料8867万円の返還請求をしている。

しかし、破産管財人から破産手続き廃止決定がされており、回収が見込めないため、債権放棄の手続きを進めた。

Q 土地建物貸付収入2万7720円の不納欠損と土地建物売払い収入101万3000円が収入未済になっている。

A 中田定住促進住宅(駐車料)の不納欠損であり、債務者が行方不明によるもの。未収金は、旧町から引き継いだ債権で、現在も居住用財産として使用されている。毎月少額だが確実に納付されている。

#### 歳出

#### 総務費

Q 防犯カメラ設置が迫4台登米2台とあるが、その成果は。また今後、通学路に優先して設置すべきと思うが。

A 27年度は佐沼署に1件登米署に2件の画像を提供した。今後は、設置場所なども考慮し有効な方策を考えていく。

Q 登米・栗原・一関の3市合同の婚活イベントでは、カップル成立18組のうち7組が登米市の男性で良い結果と考える。その要因と今後の計画は。

A 新たな試みとして、広域的に取り組んだことや、人数も各市男女10人ずつの60人と定員を多くし開催したこと、メリットが出たと考える。今後は、平泉町も加わり4市町連携の婚活イベントを計画している。

Q 空き家情報バンク事業の実績は。

A 27年度の空き家バンク登録件数は11件(延べ49件)。

#### 民生費

利用希望登録者は17件で、成立は3件であった。

Q 河川湖沼の水質調査について、長沼川のBODが基準値を超過したとあるが状況は。

A 昨年、長沼川では2回水質検査を行った。1回目(8月)は基準値以下だったが、2回目(11月)は上流部分だけが基準値を上回った。しかし、全体的に水質改善されていると考えている。

※BOD:水質指標のひとつ。生物化学的酸素要求量。



市内を流れる長沼川

Q 具体的な生活困窮者自立支援の内容は。

A 「ともまち登米」に委託している。ハローワークと連携し事業所の紹介や家庭・就職・債務などの問題解決に向け、指導している。

Q 市内の高齢者福祉施設への入所待機者は何人くらいか。また、保育所などの待機児童の状況は。

A 昨年の施設への調査では、7月末で400人以上が在宅サービスを受けながら、入所を希望している。また、昨年10月時点で待機児童は、96人となっている。

#### 農林水産業費

Q アグリビジネス人材育成事業における起業家育成塾の実績は。

A これまで1期から3期の塾生のうち、法人化、起業を行ったのが11件。6次産業化などが3件となっている。

Q 有機センターは利用率が伸びていない。また、経年劣化により機械設備の故障が多くなっている。

#### 特別会計

##### 下水道事業会計

Q 佐沼大東地区の雨水排水施設測量設計の成果は。

A 調整池や周辺水路の設計を行ったが、事業費の大幅な増加などにより、整備手法の見直しを行っている。



冠水した道路(佐沼大東地区)

#### 企業会計

##### 病院事業会計

Q 一般会計からの繰り入れは、どの程度が適当と考えているか。

A 救急医療などの不採算部門を担っている。基準内の繰り入れで収める経営努力をしている。

Q 長沼フットピア公園の風車の稼働日数は。また、風車を操作できる技術者は、一人しかいない。人



南方有機センター

#### 商工費

機械設備を設けず、堆肥を重機で切り返す方が効率的と考えるが。

A 故障などによる停止期間もあり、堆肥の販売も伸びていない状況である。

補助金で設置しており、関係機関と協議し、今後のあり方を検討していく。

#### 消防費

Q 雨量監視システムの更新場所は。また、リアルタイムで情報を知ることができるのか。

A 市内に6カ所(登米1、東和2、津山3)あり、東和町の嵯峨立地区と鱒淵地区、登米町の羽沢地区の3カ所を更新した。情報は、パソコン、スマートフォンで見ることが出来る。

Q 豪雨災害が各地で起きている。もし北上川の堤防が決壊した場合、これまでのハザードマップで対応できるのか。

A 県の浸水想定区域のマップができた時点で、本市独自のより完成度の高いものを作製し、市民の皆さんに提供する。

#### 教育費

Q いじめや不登校の現状と、けやき教室の利用状況は。

また、「よりよい学校生活と友達づくりのためのアンケート調査」の結果をどう指導に反映させたのか。

A 不登校者は中学校で95人、小学校で18人である。8人がけやき教室に通っていた。アンケートから、「無視された」、「悪口を言われた」、「叩かれた」などの数を把握し、それに基づき指導し減らす取り組みをしている。

Q 図書館協議会の中で図書館構想を協議しているが、市内3カ所にある図書館の構想を協議したのか。

また、新図書館の建設場所についても協議しているのか。A 市全体の図書館のあり方、構想を協議している。建設場所については、祝祭劇場や大型ショッピングセンター周辺、あるいは新庁舎内に建設する案もあることを説明している。



工事請負契約の変更

一般廃棄物第二最終処分場埋立地建設工事

中硬岩（硬い岩）の掘削作業に伴う残土置き場の設置・残土搬出など工事の追加・変更、インフレスライドなどにより契約変更が必要になったもの。

■変更後の金額

17億7119万円

■変更前の金額

14億6880万円

(3億239万円の増額)

● 現契約より20%、3億円以上の増額となっている。設計・測量の段階で瑕疵があったのではないかと。設計測量業者の責任はないか。

また、インフレスライド2500万円の根拠は。

● 事前に土質調査等を行い設計するが、点で調査を行うため全体的に把握するのが難しく変更になるケースがある。設計に関しては、岩質や亀



建設中の第二最終処分場埋立地(豊里町笑沢地内)

裂の方向が把握できない状況であった。インフレスライドは、設計時より労務費が約7%上昇したことや資材費などが高騰していたことによる。インフレスライド分などを引くと、純工事変更分は約16%の増額となる。

● 増額となる中硬岩の部分を除いた設計に変更はできないのか。

● 人口規模に基づき埋め立て処分量を計画し、申請している。中硬岩は広範囲に及んでおり、計画を縮小した場合、管理道路、排水施設など全てに影響するため、変更は難しい。

※インフレスライド：予期できない急激な物価の上昇が生じ、請負金額が著しく不相当となったときに、請負金額の変更を請求できる措置

討論

反対

調査段階で中硬岩のボリュームを推量できなかったこと。また、総工費は17億円であり、その中に一般経費も計上されている。インフレスライド分は企業努力、また発注者側として減額交渉すべき余地があったと考える。

今後、焼却炉のプロジェクトもある。細部の調査・精査のもとに発注されることを期待し、本案に反対する。

庄子喜一 議員

賛成

地質調査には限界がある。調査時に判明していれば、契約内容は違うものになったと考える。また、企業努力にも限界がある。

最終処分場だからこそ完璧なものを整備しなければならない。1日も早い完成を目指す観点から本案に賛成する。

相澤吉悦 議員

採決

賛成多数で原案可決

条例の一部改正

指定地域密着型介護予防サービスの人員・設備及び運営並びに介護予防の効果的な支援に関する基準を定める条例の一部改正

地域密着型通所介護が創設されたことに伴い、地域密着型介護予防サービスに関する基準を定めるもの。

● 運営推進会議には、地域住民の代表者が入るとあるが、誰が入るのか。

● 区長や民生委員の方々を想定している。

意見書

宮城県の子どもの医療費助成制度の拡充を求める意見書

提案された意見書は、本会議で可決し、関係機関に提出しました。

放棄した債権

生活困窮や行方不明などにより債権放棄したもの。	
・学校給食費	76万4,398円
・水道加入金、料金など	69万7,035円
・病院事業使用料	125万3,643円

一般会計

新庁舎建設基本計画策定基礎調査

983万円

新庁舎の位置や機能を、利便性やコストの観点から調査し、検討するもの。

(仮称)登米認定こども園土地取得・造成事業  
・土地取得 2514万円  
・造成工事 2491万円

認定こども園を整備するにあたり、建設用地を運営業者に貸与するため、用地を取得し造成工事を行うもの。

● 取得する用地は、正形ではなく、園舎と園庭の間に道路がある。

安全性など問題はないか。

● 教育、医療などの公共施設の近隣地区であることや国の補助との関係から、28年度の



取得用地(登米町寺池地内)

● 新庁舎の必要性を十分認識しながら進めていく。

道路整備(梅ノ木平柳線)は、庁舎建設に向けた位置づけだけでなく、市内の交通アクセスの観点からも、必要と認識している。遅くても、平成35年までには完了させたい。

討論

反対

新庁舎建設に関する調査費に、3つの理由から反対する。

①本庁機能がある迫、中田、南方に比較し、総合支所となった旧町域の人口減少が大きく、一極集中につながる恐れがある。②有利な合併特例債を活用しても、利子を含めると35%の負担が生じる。③多くの支所では2階、3階が使用されていない上、さらに中田、南方庁舎に空室ができることなどから本案に反対する。

佐藤恵喜 議員

賛成

昨年8月、市民会議より、新庁舎の必要性和コスト削減には合併特例債が有効とする提言書が提出された。

庁舎の老朽化、分散、狭隘化などの課題を解消し、市民が利用しやすく、親しまれる庁舎建設のためにも、慎重な計画づくりがあつてしかるべきである。そのための調査費であり、本案に賛成する。

浅田 修 議員

反対

新庁舎建設は、来年4月の市長選挙の公約に掲げ市民の声を聞き進めるべきである。

また、登米認定こども園の取得予定地は、園舎と園庭が道路で分断されているなど、子どもたちの安全確保は難しく危険である。

市として、主体的に取り組むべきとの思いから本案に反対する。

相澤吉悦 議員

賛成

新庁舎建設の提案は遅すぎることではないか。少なくとも半世紀は使用する施設となるので、誤りのない判断を望み本予算に賛成する。

浅野 敬 議員

採決

賛成多数で原案可決



# 総務企画常任委員会

## 消防団員の確保、報酬の増額と手当等の見直しを



消防団と意見交換会

○消防団との意見交換会を実施  
（6月20日調査）

東日本大震災からの教訓として、あらためて「消防団のあり方」が議論されている。また、消防団を中心とした「地域防災力」の充実強化が課題となっている。消防団の課題は、団員の減少と高齢化であるが、一方で、女性団員の増加も見られる。本市においては「登米市消防団見直し検討会」を設置しているが、さらなる団員確保には、報酬の増額や各種手当等の見直しが必要であるとの認識を強くした。

○市内・市外現地調査

▼細倉金属鋳業株式会社（抗廃水処理対策）  
（7月25日現地調査）

27年9月11日の豪雨により細倉金属鋳業の敷地内に多量の雨水が流れ込み、未処理水が迫川上流の荒町川へ流入する事故が発生した。今後の対策として、雨水と抗廃水を清濁分離する施設整備と緊急貯水ピットの増量対策を計画し

ているが、水質事故は未然に防げる人災である。迫川流域住民に不安感を持たぬよう安全対策に万全を期すことを求めた。

▼花山ダム管理事務所（貯水状況）  
28年は降雪量が少なく夏場の水不足が懸念されていることから、迫川流域の貯水状況を確保するため花山ダムを視察した。

調査時には台風などの洪水調整のため洪水貯留準備水位まで下がっていたが、今後の天候によっては節水を呼びかける可能性もありうるという。

また、岩手宮城内陸地震以降、豪雨時には土砂の流入や濁度の上昇が現在でも見られることから、上流部での土砂流入対策が必要であると認識した。

▼登米市水道事業所（下り松ポンプ場工事進捗状況）

東日本大震災で被災した保呂浄水場の取水施設である下り松ポンプ場の給水安定化

工事の進捗状況を視察調査した。躯体工事は58%、電気設備工事は38%、導水管敷設工事は63%の進捗であり、全体では47%と予定通りの進捗状況であった。今後も安全第一で工事を進められたい。



建設中の下り松ポンプ場を調査

○その他の調査項目

・日本政府に核兵器全面禁止のための決断と行動を求める意見書  
・原子力災害時における避難計画（豊里町・津山町編）（案）  
・第3次定員適正化計画

# 教育民生常任委員会

## 食べ残しの肥料化や飼料化などの検討を



西部学校給食センター

○きらり保育園がの・きらり保育園さぬま  
（6月15日現地調査）

両施設ともに6月1日現在の19名の定員に対し、100%の入園者数である。保育士が不足していると言われる中で、2園で臨時職員は3名と少なく、正職員で採用することや時代背景に合わせた情報発信により職員を確保してい

る。

施設に園庭がなく、近隣の児童遊園地を活用していること、3歳以降の連携施設の確保が課題であった。

定員19名の小規模施設であることや10年後からは家賃補助が無くなることから、安定的な経営が求められる。当初の事業目的が達成されるよう、執行部に対して引き続き指導・監督を求めた。

○西部学校給食センターを調査  
（7月8日現地調査）

西部学校給食センターは、ドライシステムの厨房方式や食物アレルギー対応給食の専用調理室を設置するなど、「食の安全と地域の安心」を特徴に、迫、米山、南方地域の3600食を安定的に提供している。

28年度から委託業者が代わり、キョウワプロテック（株）と5年間の委託契約となっている。業務員44名中8割が地元採用である。センターにおける1日の残食料は平均で供給量の10%あり、粉砕、脱水、乾燥の後、クリーンセンターで焼却処分されているが、肥料化や飼料化などのリサイクルによる活用も検討された。

○登米市立仙台学寮を調査  
（7月20日現地調査）

仙台学寮は、改築後34年が経過している。これまで、大規模な改修がなされなかったことから、部屋の壁紙が剥がれ



仙台学寮を視察

浴室の壁はカビで黒ずみ、食堂の椅子はシミだらけなど、粗悪な生活環境にある。使用料をいたたい以上、補修などの対策を早急に講じるべきである。

一方で、30年度末で閉鎖する計画であるが、学寮開設の趣旨も鑑み、施設の今後について、敷地の利活用など早急に検討するよう求めた。

○その他の調査項目

・西郷幼稚園の休園について  
・県立循環器・呼吸器病センターの機能移管について  
・多賀城市立図書館の現地調査



# 産業建設常任委員会

## 新たな生活の拠点 災害公営住宅が完成



完成した災害公営住宅（迫西大網第二住宅）

○道の駅三滝堂設置条例制定  
（6月15日調査）  
道路利用者の利便性向上の  
ほか情報発信、観光振興、物  
産販売を通じた地域活性化を  
目的に設置する道の駅三滝堂  
の設置に関し制定する条例で  
ある。

建物には登米市産木材が多  
く使用される予定であり、キ  
ヤンピングカーの駐車スペー  
スやドッグラン広場も整備す  
る。指定管理により運営され  
る施設であるが、最大限の設  
置効果を得るためには、市の  
関わりが非常に大切であると  
考える。

### ○提言書の提出

（6月22日調査）  
市道の管理瑕疵を問われる  
事案が発生した。市民の安全  
安心を守る観点から、早急な  
修繕が必要と判断し、市長に  
対し、市道の修繕必要箇所を  
把握するための、体制整備の  
確立および早急な修繕対応を  
求める提言書の提出を決定し  
た。

### ○迫西大網第二住宅の完成状 況を調査

（7月22日現地調査）  
東日本大震災で、主に市外  
で被災された方々を対象に整  
備を行ってきた災害公営住宅  
が完成した。建物は鉄骨造の  
長屋方式で、木材使用部分の  
12%に登米市産材が活用され  
ている。

震災から5年。今後、落ち  
着いた生活を取り戻していく  
上では、コミュニティと自治  
会の確立を支援する体制が必  
要と考える。

### ○大東地区雨水排水整備事業

（7月22日調査）  
以前より、豪雨時の床下浸  
水や道路冠水の発生解消のた  
め、地下調整池の整備を計画  
していた。しかし、事業費増  
嵩、厳しい予算配分の状況か  
ら地下タンク排水方式を断念  
することとなった。  
今後の改修について、住民  
への周知はもちろん、一刻も  
早い事業の策定と実施を強く  
要望する。

### ○みやぎ登米農業協同組合と の意見交換会



農協関係者と意見交換

（8月4日実施）  
「地域営農ビジョン」をテ  
ーマに意見交換を行った。地  
域営農ビジョンづくり運動の  
趣旨は、農地継承、地域農業  
振興のため、地域一帯で地域  
農業の将来像を描くことであ  
る。今年度は重点運動期間の  
最終年度であり、重点区域に  
おいて計画策定が推進されて  
いる。  
また、東京都豊島区との都  
市と農村の交流に意欲的で、  
その実現のため、市との連携  
を期待する。

## 総務企画常任委員会

8月2日～8月4日

### 岡山県倉敷市 「協働のまちづくり」

「市民を動かすには、まず職員から」を合言葉  
に、20年度から各所属に協働推進員および協働  
調整員を設置している。これからの「協働のま  
ちづくり」には市民、職員のフアンシレーター  
育成が欠かせないことから、本市においても関  
係部署のみでの取り組みとせず、組織を挙げて  
進めるよう期待する。

※フアンシレーター：組織が目標を達成  
するために、問題解決・合意形成など中  
立的な立場から支援を行う人。調整役。

### 岡山県吉備中央町 「ふるさと納税」

「ふるさと納税は農業振興である」と割り切り、  
返礼品はコメに特化、高値で農家から買い取っ  
ていた。本市の基幹産業は農業だが、吉備中央  
町のような、厳しい農家の現状を市が応援して  
いるという「目に見える取り組み」が必要では  
ないかと考える。

### 岡山県備前市 「空き家情報バンク」

「空き家情報バンク制度」を開始し、広報、ホー  
ムページはもとより、フェイスブックなどの  
SNSでの制度周知も実施。また、空き家等除  
却支援事業を創設し、老朽空き家の除去費用の  
一部を補助、市民の生活環境の向上を図ってい  
た。本市においても市民の生活環境を守る政策  
などに取り組まれるよう期待する。

## 教育民生常任委員会

7月25日～7月27日

### 新潟県糸魚川市 「こども一貫教育方針」

一貫教育方針の3つの柱と2つの重要な教育  
活動には、「家庭」「地域」「園・学校」が連携し、  
それぞれ何をどうするのかを明確にしている。  
そして着実に成果が上がっているとのこと。  
本市のよりよい教育環境の整備を図るために  
も、「どこで、誰が、どうするのか」を明確にし、  
よりスピード感を持って取り組みが必要であると  
感じた。

### 長野県塩尻市 「塩尻市立図書館」

人口減少時代を迎え、本が持つ可能性を考え  
たことをきっかけに、図書館の在り方が議論さ  
れ始めたとのこと。図書館は「子育て」「シニア  
活動」「市民活動」「ビジネス」のそれぞれの支  
援について、情報提供の役割を果たしている  
を見た。  
本市の図書館建設のヒントになると感じた。

### 長野県上田市 「健康づくり事業」

上田市では平成27年6月より健康づくりチャ  
レンジポイント制度を導入後、翌年にリニュー  
アルをし、ポイント利用内容の拡大によって、  
市民に大変好評で、参加者数も増えているとの  
こと。楽しみながら健康づくりを実践し、自身  
の健康に関心を高める動機づけに有効であり、  
本市でも導入を検討されたい。

## 産業建設常任委員会

7月25日～7月27日

### 福岡県宗像市 「バイオマスの有効利用」

快適な都市環境実現のため、一般廃棄物厨芥  
類、剪定枝と刈草、下水・し尿汚泥を利用対象  
バイオマスと選定。当面5年以内に、メタンガ  
ス発電事業とバイオマス堆肥化事業を実施。行  
政を主体としつつ、民設民営を目指している。  
本市も豊富なバイオマス資源の有効利用につい  
て調査研究されたい。

### 福岡県飯塚市 「コンパクトシティのための都市計画」

拡散型に変化した都市構造を見直し、民間活  
力を活用した空洞化解消のための3つのハード  
事業と、「健康」をキーワードにした都市魅力創  
造のソフト事業を組み合わせ、コンパクトシテ  
ィ+ネットワークのまちづくりに取り組んでい  
た。拠点連携型都市の構築は、今後、本市のま  
ちづくりを考える上でも、大いに参考にすべき  
と考える。

### 福岡県朝倉市 「グリーンツーリズム推進」

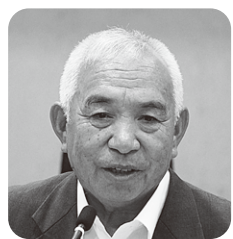
81戸が、日帰り農業体験、海外からのホーム  
ステイ、学校の教育旅行などを受入れており、  
体験プログラムメニューも豊富である。交流人  
口拡大のため、本市でも積極的な推進を望む。





カントリーエレベーター (迫)

**問** 減反政策が30年に廃止になるが、それに代わる対策として飼料用米を作付けする農家が多くなると思う。国・県・農協



相澤吉悦 議員

**答** 地域全体で需要に合った主食用米の生産を進める。一定の所得が確保できる転作物をバランスよく組み込むなど、関

**問** 本市の公園・駐車場の使用許可を取り、イベントなどを開催する場合

**答** 公園・駐車場の使用許可は、その用途に応じて適切に指導していく。

**答** 関係機関で話し合いをしていく

**問** 飼料用米専用施設の設置検討を

# 市政 「こころ」が聞きたい

一般質問は、9月1日から3日間、18人の議員が登場し、当面する市政の課題について活発な議論が行われました。

(紙面の都合により内容を要約してお知らせします)

※ 議会ホームページで録画中継をご覧いただけます。

## 一般質問

### 庁舎建設に関する調査特別委員会 小委員会行政視察報告

10月4日～5日

**埼玉県北本市**  
面積が19・82平方キロ、人口6万8千人、都心まで45分のまちは、「緑に囲まれた健康な文化都市」を目指したまちづくりを展開している。  
庁舎建設は、昭和59年から25億円の基金を積み立て、見直し、延期を経て、平成26年に竣工した。「緑に囲まれた 市民をむすぶ やさしい低層庁舎」をコンセプトに、隣接する文化センター、図書館と一体化させ、庁舎内に子どもプラザ（児童館、子ども図書館）、防災拠点を意識した市民テラス、倉庫などにも配慮してあり、総工費36億円は廉価で市民への細かな配慮がみえる庁舎建設であった。

#### 山梨県南アルプス市

平成15年、6町村が合併して7万2千人の町が誕生した。当初、消防本部の隣接地に新たな庁舎の建設を計画していたが、市長の交代により「既存庁舎の増改築」へと計画変更された。  
しかし、新築推進派からの申請により議会は、住民投票条例を制定するに至った。住民投票を実施した結果、「増改築派」が勝利したこと、現市役所（旧櫛形町役場）を増改築することになった。

地盤の良さ、設計、建造物の構造上の強固さなどから、約10億円という低コストでの整備が可能となり、当初計画していた新たな庁舎建設（約63億円）に比べて6分の1のコストで市民サービス行政拠点をつくり上げようとしていた。

### 福島第二原発事故 放射能汚染対策特別委員会

8月29日～30日

**放射能汚染物質の減容化を調査  
宮城県栗原市**  
8千kg以下の汚染廃棄物は、各自治体で処理することとされている。  
栗原市では、放射能汚染された牧草を使い堆肥を製造する減容化の実証実験を行っている。さらに、その製造された堆肥で作物の育成実験を行い、安全性の理解を求め実証を行っている。  
多くの課題を抱えながらも焼却に頼らない処理のために、その一つ一つを解決していく姿勢に政治の力強さを感じた。

#### (二財) 石炭エネルギーセンター 横手バイオコークス製造所

石炭エネルギーセンターでは、環境省から委託を受け、「多原料バイオコークスによる一般廃棄物処理施設でのCO2排出量25%削減の長期実証」に近畿大学、JFEエンジニアリング（株）と共同で取り組んでいる。  
このバイオコークス技術は、稲わらなども原料にでき、減容化の観点から調査を実施。バイオコークス化は減容化のほか安定保管、また体積が減ることで保管施設などの縮小に期待ができる。しかし、コスト面や汚染廃棄物を原料とした場合、凝縮するためセシウム濃度が上がるなどの課題もある。

今後引き続き調査をしていく。

### 広報広聴委員会行政視察報告

8月9日～10日

**栃木県栃木市**  
「議会報告会の取り組み」  
栃木市議会では、議会報告会の開催にあたり、「議会報告会運営委員会」を設置している。運営委員会では、開催・運営のほか企画・立案などを協議する。報告会は、1時間30分程度で、そのうち45分をフリートークの時間としている。参加者も多く、フリートークでは10人程度のグループに分け、意見交換を行うスタイルをとっている。

その後、市民意見を運営委員会で協議し、参考にすべき事項を提言書としてまとめ、市長に提出している。  
本市の意見交換会でも、多くの方に参加いただけるよう研究、工夫し取り組んでいきたい。

#### 栃木県高根沢町 「議会広報の編集」

文字はできる限り少なくし、写真を多く使用し、目を見出し付けや空白とのバランスなど、見やすく読みやすい紙面づくりを心がけている。定例会の審議結果のほか、町政に期待することなどを町民にインタビューする「あなたの声を町政に」などを掲載している。また、一般質問の紙面には、QRコードが掲載されており、スマートフォンで簡単に動画を視聴できる。  
チャレンジ精神を持ち、さまざまな工夫を凝らした魅力ある紙面編集は、大変参考になった。  
本市議会だよりも、多くの方に読んでいただける紙面づくりに取り組んでいきたい。





利活用が待たれる旧よねやま病院病棟

問 旧よねやま病院は、民間活力の導入により、医療、介護などに活用を図っていくとの考えであったが、話が進んでいない状況である。今後の見通しは。



浅田 修 議員

答 現在、数件の問い合わせがあり、話し合いの継続中である。今後、具体的な中身の交渉に入っていく段階である。

問 善王寺森の腰地内の早期改修について

答 現在、事業実施している区間が完了次第事業化に結び付けていく。今後、市としても積極的に要望していく。

※ジビエ：狩猟によって捕獲された野生鳥獣やその食肉

問 教室にエアコン設置を。

答 より良い学習環境が図られるよう検討する。

問 本市の集団検診は、検診対象年齢や、所得の低い方の費用負担軽減など、誰もが受診しやすい



日下 俊 議員

問 本市の胃がん検診は40歳以上が無料で、35歳から39歳までが千円の費用負担になっているが、

答 特定健診や胃がん検診など対象年齢を拡大し、基本的に無料としている。休日・夜間検診の導入や居住の町域以外でも受診できる環境整備に努める。

問 旧よねやま病院病棟の利活用は有効活用に向け対応継続していく

答 ピロリ菌検査導入や胃カメラ導入については、検診の反省会などで協議した経緯はあるが、実施には至っていない。本市の医師会ならびに市民病院の先生方の助言をいただき検討していきたい。

問 本市の集団検診受診率は、県内でも常に上位にあるが、健康寿命は低位にある。このことをどのように考えるか。

答 本市においては、がんの罹患率以上に循環器系の疾患が非常に高いのが特徴であり、メタボ率も高い。集団検診のみならず適切な食事と適度な運動を行うなど、市民の皆さんへ多角的なアプローチをしていきたい。

問 集団検診率向上で健康寿命延伸を

問 過日行われた「市民との意見交換会」では、多くの市民が、交流人口増で地域経済が活発になることを望んでいることが分かった。磨けば光る、埋もれている地域資源を掘り起こし、広く国内外に発信することで、観光資源に活かすべきとの考えから4件を問う。

問 本市の集団検診受診率は、県内でも常に上位にあるが、健康寿命は低位にある。このことをどのように考えるか。

問 教室にエアコン設置を。

新しい検診車



長沼ボート場



伊藤 栄 議員

問 過日行われた「市民との意見交換会」では、多くの市民が、交流人口増で地域経済が活発になることを望んでいることが分かった。磨けば光る、埋もれている地域資源を掘り起こし、広く国内外に発信することで、観光資源に活かすべきとの考えから4件を問う。

問 歴史公園内の案内、説明板は分かり難い。市

答 ①発見者の子孫の方などがイナイリュウに再び光を当てていることから、必要に応じ情報収集や提供などに協力したい。

問 教室にエアコン設置を。

問 シティプロモーションについて

答 ①発見者の子孫の方などがイナイリュウに再び光を当てていることから、必要に応じ情報収集や提供などに協力したい。

問 多選の弊害を考えると市長の望ましい任期はどの辺りと考えるか。



浅野 敬 議員

問 最終的には有権者が

答 就労の場の確保が重要と考える。地元企業の人材確保支援および新卒求職者の雇用の創出を図るため、新たな工業団地整備を進める。また、本市の基幹産業と位置付け

問 図書館を新庁舎と別

答 市民会議の提言もあり、交通結節点への設置により利用者の利便性の向上や賑わいの創出、幅広い年代層の利用が期待され、建設コストや施設整備の共同利用による維持管理費のコスト削減の利点があり判断した。

問 市民育成について

答 現時点で図書館は、新庁舎が最良の選択と考えるが、南方庁舎の利活用は十分に検討しなければならない。



南方庁舎を図書館に転用できないか





残さず食べましょう

**問** 食品ロスは、国際的な重要課題である。日本における25年度推計では、国民1人当たり1杯分の



熊谷和弘 議員

**答** 食品ロスは、国際的な重要課題である。日本における25年度推計では、国民1人当たり1杯分の

**問** やむを得ず食べ残したくなったものは有効活用する、市民皆さんには、食品ロスに対する認識を高めていただくなど、働きかけが重要であると考える。啓発活動などに取り組む。

**答** 食育・環境教育などを通して啓発を推進すべきと考えるが、

**問** 若者を中心としたグリーンツーリズム事業の拡充が市のPRと、活性化につながると思うがど



二階堂一男 議員

**答** この事業は、体験と交流、食を一度に楽しめる内容であり市のPRや交流人口の拡大、地域活性化にもつながる取り組みと認識している。受入希望生徒が100人を超える学校の場合、今の会員では対応できないことから、広報紙での会員募

**問** グリーンツーリズム事業の拡充を  
**答** 広報紙で受入れ会員の拡大を図る

う捉えているか。

**答** この事業は、体験と交流、食を一度に楽しめる内容であり市のPRや交流人口の拡大、地域活性化にもつながる取り組みと認識している。受入希望生徒が100人を超える学校の場合、今の会員では対応できないことから、広報紙での会員募

集で協力者の確保に取り組んでいく。

**問** 市のイメージアップとPRに向け、ロゴマークや観光名所入りの統一した名刺の台紙作成が必要と思うが。

**答** 市は今年から本格的にシティブロモーション事業に取り組んでいるところである。その一環としてロゴマークも作成する予定であり、市内観光名所などと組み合わせ

職員用名刺の台紙を作成したい。

**問** その名刺を活用し、職員一人ひとりがシティブロモーションとして、市を国内外にしっかりとPRしていく。

**答** 市の名刺を活用し、職員一人ひとりがシティブロモーションとして、市を国内外にしっかりとPRしていく。



農作業のあとは、楽しくバーベキュー (石越町)

**問** 食品ロス削減の取り組みの推進を

**答** 啓発活動などに取り組む

ごはんを毎日捨てている計算になる。

長野県松本市では、宴会の食べ残しを減らすため、乾杯後の30分と終了前の10分は自席で食事を楽しむ「30・10運動」を進めている。本市においても食品ロス削減に向けた取り組みを推進すべきと考えるが。



開設された地域包括ケア病棟 (市民病院)

**問** 地域包括ケアシステム構築は  
**答** 推進会議を設置し連携を進める



佐々木幸一 議員

**問** 地域包括ケアシステム構築の取り組み状況は。

**答** 地域包括ケア体制推進会議を設置し、相互の

連携強化を進めている。

**問** 本市が目指すシステムの形をどう考えるか。

**答** 医療資源が少なく介護施設は比較的多い状況である。機能と特性を活かした体制を構築したい。

**問** 誰が責任者となるのか、また推進体制は。

**答** 本市が責任を持って進めていく。地域包括ケ

持続可能な医療体制を

各大学との連携で、総合診療医の育成、定着に取り組む。

一般会計繰入金と累積欠損金をどう考えるか。

総務省が定めた繰出金のルールに基づき繰入を行っていき。累積欠損金は、経常収支の黒字化

病院事業中期計画(素案)の中にどう位置づけているのか。

総合診療医の育成を主要事業として取り組む。

市民も地域医療当事者として参加が必要では。

出前講座を始め、病院サポーターになってもらう取り組みを推進する。

診療報酬改定からみる病院経営の方向は。

地域包括ケア病棟を立ち上げ、機能分担を図り持続的な経営を目指す。

診療報酬改定からみる病院経営の方向は。

地域包括ケア病棟を立ち上げ、機能分担を図り持続的な経営を目指す。

診療報酬改定からみる病院経営の方向は。

地域包括ケア病棟を立ち上げ、機能分担を図り持続的な経営を目指す。

診療報酬改定からみる病院経営の方向は。

地域包括ケア病棟を立ち上げ、機能分担を図り持続的な経営を目指す。

診療報酬改定からみる病院経営の方向は。

地域包括ケア病棟を立ち上げ、機能分担を図り持続的な経営を目指す。

診療報酬改定からみる病院経営の方向は。

地域包括ケア病棟を立ち上げ、機能分担を図り持続的な経営を目指す。

診療報酬改定からみる病院経営の方向は。

地域包括ケア病棟を立ち上げ、機能分担を図り持続的な経営を目指す。

診療報酬改定からみる病院経営の方向は。

地域包括ケア病棟を立ち上げ、機能分担を図り持続的な経営を目指す。

診療報酬改定からみる病院経営の方向は。

地域包括ケア病棟を立ち上げ、機能分担を図り持続的な経営を目指す。

診療報酬改定からみる病院経営の方向は。

地域包括ケア病棟を立ち上げ、機能分担を図り持続的な経営を目指す。





万が一に備え操法訓練（東和支団）

問 本市の農業政策の展開をただす

答 国の政策に基づき独自策も進める



田口久義 議員

問 本市の農家における農業所得の実態を捉えているか。

答 本市の農家における農業所得の実態を捉えているか。27年中の一農家当たりの平均所得は39万3141円となっている。平均所得であり、個人の差はあると思うが、この39万円という数字をどう捉えるか。

問 平均所得であり、個人の差はあると思うが、この39万円という数字をどう捉えるか。

答 数字は零細農家を多く含んだもので、平均として理解いただきたい。今、認定農業者を中心に一経営体当たり600万

りの平均所得は39万3141円となっている。平均所得であり、個人の差はあると思うが、この39万円という数字をどう捉えるか。

問 複合経営の勧めがいろいろあるが、農業部門ごとの土地・労働生産性を把握することが大切。経営者は、どんな支援を必要としているのか。労働力、資金力、技術指導なのか、国の制度活用を含め、援助を進めるべきと思うが、考えは。

答 国の制度を十分に活用し、それらの情報を経営者に周知すべく、行政として独自の取り組みも含めて進めていきたい。

問 国が目指す、経営者に競争力を求める政策と、それとは対照的に、直接所得を補償する政策について、どう評価し、どうあるべきと考えるか。

答 競争力を求める国の基本的な方向性は評価する。一方、国から直接支払交付金が交付されているので、一定の効果があると考えられる。

問 youyou館のリニューアルを

答 現場、状況を確認し適切に対応



佐々木 一 議員

問 平筒沼のyouyou館は、本年から宿泊ができないため各種団体などの事業執行に支障を来

答 現場、状況を確認している。風呂場を備えた本市の新たな交流人口増加の拠点施設として整備すべきと考えるが。

問 昨年、宿泊施設の基準が厳格化され、建築基準法に定める基準を満たしていないことから、本年3月から宿泊利用を中止している。今後、基準を満たす改修を行い入浴

環境を整えた施設として整備する。施設は開館から25年が経過し、トイレ、貴流し台など設備や備品の経年劣化が著しい。利用率向上を図るため、リニューアルが必要ではないか。

答 現場、状況を確認し適切に対応する。工業、農業の地産地消 本市で新商品を認定し、その商品を随意契約で購入する制度が制定されて4年目だが、認定さ

問 多目的トイレの設置を

答 新設、改修時に環境整備に努める



及川長太郎 議員

問 本市の公共施設のトイレの水洗化は進んでいる。身体の不自由な方、おむつ交換が必要な乳幼

児を持つ家庭の方などが利用しやすい多目的トイレの計画的な設置と今後の考え方を伺う。

答 公共施設のトイレなどについては、高齢者障がい者の利用者が安全・安心、円滑に利用できるよう、学校、社会教育施設に新設や改修の際に多目的などの環境整備

に努めている。本年8月実施した多目的トイレの設置状況調査では、304施設のうち139施設にあり45・7%である。学校施設は44施設のうち10施設、公民館などの社会教育施設では、37施設のうち19施設の設置状況である。公園や道の駅施設では80施設のうち20施設に設置。公共施設などの整備にあたっては、バリアフリーの視点を立ち、多様な方々が利用しやすい施設や設備の整備に努めていく。



障がい者も利用できるトイレに（新田総合運動場）

問 公民館職員・役員の処遇改善を

答 実態を踏まえて検討を進める



岩瀬正宏 議員

問 地域住民の親睦、福祉の向上および災害対応など多岐にわたる活動拠点として公民館がある。

答 業務は年々増加傾向でコミュニケーションに係る業務も拡大している。

問 新田総合運動場については、現状をしっかりと把握し、早急に対応するよう努力する。

答 新田総合運動場については、現状をしっかりと把握し、早急に対応するよう努力する。

管理責任者のあるべき職務内容、勤務の実態を詳細に調査し、指定管理の中に反映できるような検討を進める。施設運営のための役員会議などの場合、費用弁償を支給しているケースもあり、実態に即した指定管理料を検討していく。

問 既存の補助は3年間で廃止だが、新基準で補助金を受けることも可能にする。市職員を消防団に 五つの町域で職員は入団していない。消防団活動はまちづくりの原点、職員の加入促進を。地方公務員の使命と意義を学ぶ機会になることも想定される。取り組みを進めていきたい。



概算金がやや上向いた今年の米価





待たれる医師の充足（豊里病院）

**問** 合併12年目。なぜ病院運営が安定しないのか。経営効率化のため5病院2診療所から3病院4診療所



八木しみ子 議員

**答** 経営の合理化と医療体制の再編など経営改善

**問** 医療体制を取り巻く状況に不安  
**答** 医師の確保対策と医療改革に取り組む

**問** 医師確保対策の動向と経営改善策は。

**答** 東北大学との連携強化と寄附講座の設置に向けた協議を進めるとともに地域に根ざした総合診療医の育成確保に向けた取り組みを地域に貢献できる病院づくりを目指す。患者本位の医療を実践し、信頼され、支持される病院実現のため、職員全員で経営意識を持ちながら改革に取り組んでいく。その他の質問

**問** 県立循環器・呼吸器病センターについて、県は栗原中央病院に機能を移管し、統合させる方針



関 孝 議員

**問** 雨水排水対策事業

**答** 循環器・呼吸器病センターの機能を市民病院で引き継いで担えるよう、医療体制の充実・整備を強く県に要望していく。

**問** 河川支障木の除去を

**答** 県では本年度、迫川の三方島近辺と二股川上流の支障木の伐採を予定している。今後適正な河川の維持管理を要望していく。

**問** 市民の安全安心は守れるか  
**答** 医療体制の充実・整備を県に要望

**問** 市民の安全安心は守れるか  
**答** 医療体制の充実・整備を県に要望

**問** 市民の安全安心は守れるか  
**答** 医療体制の充実・整備を県に要望

**問** 雨水調整池予定地（大東公園）の地質調査、設計検討の結果、事業費の大幅な増加と事業期間の長期化が見込まれることなどから、整備手法の見直しを考えている。

**問** 河川支障木の除去を  
**答** 県では本年度、迫川の三方島近辺と二股川上流の支障木の伐採を予定している。今後適正な河川の維持管理を要望していく。



支障木や雑草が繁茂する迫川堤防（迫町三方島地内）



本庁機能を持つ中田庁舎

**問** 登米市誕生後、東和津山、登米、石越、米山の人口減少幅は10%以上だが、本庁機能がある迫



佐藤恵喜 議員

**問** 新庁舎建設は白紙に戻せ  
**答** まちづくり拠点施設として進める

**問** 東北新生園の将来は

**答** 今後、自治会の意向を最優先に、園のあるべき姿について協議を続けていく。

**問** 新庁舎建設は白紙に戻せ  
**答** まちづくり拠点施設として進める

**問** 東北新生園の将来は

**答** 今後、自治会の意向を最優先に、園のあるべき姿について協議を続けていく。

**問** 本人が望まないのに差額ベッド料が発生した例をあげ改善を申し入れたがどうなったか。



佐藤尚哉 議員

**問** BSE検査の継続を

**問** 災害時相互支援協定を

**問** 南海トラフ地震などで、被災が予想される自

**問** 東北新生園の将来は

**答** 今後、自治会の意向を最優先に、園のあるべき姿について協議を続けていく。

**問** 差額ベッド料が発生する場合、患者や家族の同意が必要。ただし、病状により病院側が判断した場合は、料金の請求はしない。

**問** 災害時相互支援協定を  
**答** 南海トラフ地震などで、被災が予想される自治体と協定を結ぶ考えは、また、被災者の受け入れに、空き家などの活用を提案するかどうか。

**問** 東北新生園の将来は  
**答** 今後、自治会の意向を最優先に、園のあるべき姿について協議を続けていく。

**問** 差額ベッド料の統一見解を

**問** 差額ベッド料の統一見解を



バス、トイレ付きの病室



# あなたの声 市民メッセージ わたしの提言

ご意見等をお寄せいただきましたので、ご紹介します。

## たまには地元を



ながまもりお  
長沼盛雄さん  
(迫)

市内の商店数がこの10年で40%も減少した。そして、今もなお減り続けている現状に強い危機感を抱いている。農業・畜産に従事されている皆さまには「食の安全」を、会社・工場等の事業者の皆さまには「雇用の安定」を担っていただき、市の発展に大いに貢献されていることは周知の事実です。そして、もう一本の矢である登米市の活性化のキーワード、それは元気な商店街（飲食業者を含む）を創り守っていくことです。なぜなら、全国どの地域でも商店街が元気な町は、例外なく活気と元気があるからです。そこで議員の皆さん、公務多忙とは思いますが、視察研修の視点を変え、地元商店街の現場視察を検討してみたいかができませんか。商店主、飲食店主の「生の声」を聞くことで、元気な商店街の実現に向けてのヒントが得られるはず。今でも精力的な議会活動の、さらなる向上が図れると思います。

## 登米ワークショップ逸品展



いちしょうけいこ  
一条恵子さん  
(米山)

とんぼ玉を作り始めて15年、市内の方々に楽しんでもらえたらと2002年とんぼ玉工房K・H・O・U・S・Eを開設。2006年より市内の作家たちとともに登米ワークショップ逸品展を立ち上げ「手作りの楽しさを伝えたい」をモットーに活動してまいりました。

おかげさまで、登米市産業フェスティバルからも声をかけていただき、毎年5工房で体験を行っております。

現在、当工房において春夏秋冬をテーマに、年4回作品展を開催しています。吊るし飾りやガラス細工、つまみ細工などさまざまな手工芸品を展示。見学においでくださるご婦人の癒しの場になれば幸いと30工房が参加しています。

これから皆さまに楽しんでいただけるような場を設け、若い作家さんを発掘し、登米ワークショップ逸品展を次世代へつなげていけたらと願っています。

## 登米市に移住して思うこと



おいかわせいじ  
及川清治さん  
(豊里)

私たち家族9人、4世代、南三陸町歌津から豊里町に来て4年目を皆元気で迎えようとしています。豊里には血縁者は一人もいなく、車で一度の通過と鉄道でわずか数回だけ。でも鉄道の乗客は割と多いと思っていました。震災で自宅再建を悩んでいるとき、今の宅地を見つけて決めました。近所の皆さんも良い人たちで、友人も多くでき感謝しながら楽しく暮らしています。

この第二の故郷を孫たちに引継いでもらいたいと思っっていますが、一つ不安があります。それは女川原発再稼働です。登米市議会も反対決議しているにもかかわらず、立地の女川町の同意があれば再稼働できる雰囲気です。30km圏内の市町村の同意も必要だと思います。

麓岳山から見下ろす広大な黄金色に輝く、宮城県北の米を後世にいつまでも残してもらいたいです。

## 問 急務、登米市農業の体制強化

## 答 水田・畜産・園芸を強化する



及川昌憲 議員

**問** 政府は、TPP交渉大筋合意を受け「攻める農業の旗印」をかかげ、成長産業への押し上げを

目指し、輸出競争力、6次化、担い手育成、農地集積、農業資材の価格見直しなど、その取り組みを加速化している。一方、農林センサスでは農業就業人口の大幅減少、5鈴以上の経営体は58%と規模拡大が進んでいる。この実態から言えるのは、仮にTPPがなくても体

質強化は急務と考える。農政新時代における本市農業の取り組みは、**答** 本市農業振興ビジョンのもと水田農業の体質強化と畜産の競争力強化、園芸産地の拡大などによる所得の向上で、「魅力向上による本市農業の維持・発展」を目指し5つの施策を柱に取り組んでいく。

①意欲と能力ある担い手を育てる。②生産基盤と農村環境を整える。③安心・安全な農産物を作る。

④地域の持ち味を活かす。⑤都市・農村交流でつなげる。

## 安全な道路整備について

## 問 市内道路のセンターラインやガードレールなどの管理状況は非常に悪い。道路の機能性を十分に発揮し、運転者や歩行者に対して安全確保が急務であるが。

**答** 道路の点検と合わせ調査し、修繕計画を立て整備する。



センターラインが消えている道路

## 議会の動き

- 7月
  - 7日 広報広聴委員会
  - 8日 教育民生常任委員会
  - 11日 7月特別議会  
政策企画調整会議  
広報広聴委員会
  - 13日 宮城県村田町議会行政視察来庁  
意見交換会（中田、豊里、米山、石越、津山）
  - 14日 意見交換会（迫、登米、東和、南方）
  - 15日 庁舎建設に関する調査特別委員会（小委員会）
  - 19日 広報広聴委員会
  - 20日 教育民生常任委員会
  - 21日 広報広聴委員会
  - 22日 産業建設常任委員会  
福島第一原発事故放射能汚染対策特別委員会
  - 25日 総務企画常任委員会  
教育民生常任委員会行政視察（～27日）  
産業建設常任委員会行政視察（～27日）
  - 29日 庁舎建設に関する調査特別委員会（小委員会）  
庁舎建設に関する調査特別委員会  
総務企画常任委員会
- 8月
  - 2日 総務企画常任委員会行政視察（～4日）
  - 4日 産業建設常任委員会
  - 5日 広報広聴委員会
  - 9日 広報広聴委員会行政視察（～10日）
  - 22日 庁舎建設に関する調査特別委員会（小委員会）
  - 26日 議会運営委員会
  - 29日 福島第一原発事故放射能汚染対策特別委員会行政視察（～30日）
- 9月
  - 1日 9月定期議会（～21日）  
各常任委員会
  - 6日 各常任委員会
  - 7日 各常任委員会
  - 8日 庁舎建設に関する調査特別委員会
  - 9日 政策企画調整会議  
議会運営委員会
  - 12日 各常任委員会
  - 16日 教育民生常任委員会  
総務企画常任委員会
  - 20日 庁舎建設に関する調査特別委員会  
福島第一原発事故放射能汚染対策特別委員会  
議会運営委員会  
議会改革推進会議
  - 21日 総務企画常任委員会
  - 30日 庁舎建設に関する調査特別委員会（小委員会）



# 10月特別議会

10月特別議会は、10月17日に開催されました。

本特別議会では、損害賠償に関する議案1件と意見書、要望書それぞれ1件を審議し、原案のとおり可決しました。

## 損害賠償の額を定め、和解することについて

・損害賠償の金額

102万6000円

本年4月、市道（迫町森地区）の段差が原因で車両事故が発生した。それに伴い破損した車両の修理期間の代車費用に係る損害賠償の額を定めるもの。

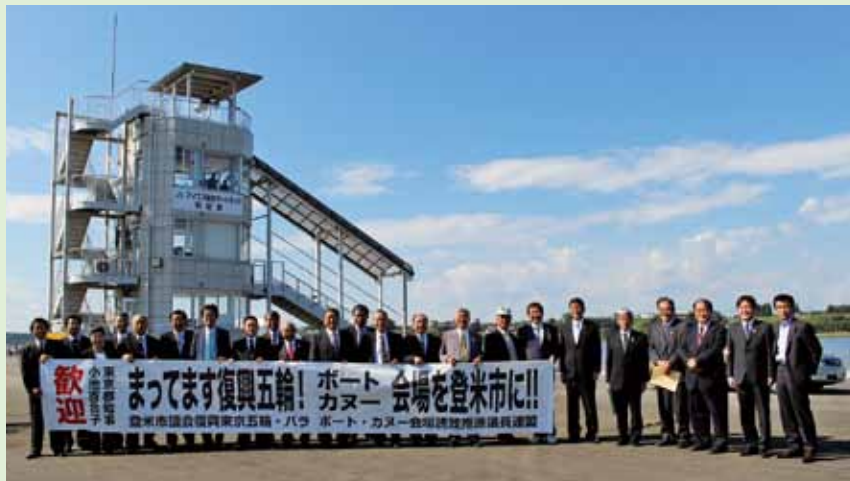
## 意見書・要望書の提出

「2020年東京五輪・パラリンピックのポートとカヌー・スプリント会場を登米市に招致する」意見書および要望書

東日本大震災被災地での両大会の開催は、夢と希望をもたらす。

また、本市の豊かな食文化、観光資源などをアピールする機会となり、波及効果にも期待ができることなどから、競技会場を招致するため意見書を提出するもの。

提案された意見書、要望書は、本会議で可決し、関係機関へ送付しました。



## 議会からのお知らせ

### 12月定期議会

12月1日(木) 開会予定

**傍聴してみませんか。**

詳しい議会日程は、議会ホームページや議会事務局にお問い合わせください。

議会のホームページを開設しています。

登米市議会 検索

議会のホームページでは、議会の情報をお知らせしています。  
<http://www.city.tome.miyagi.jp/gikai/gikai-index.html>

### あとがき

三陸自動車道の三滝堂ICから志津川IC間が、10月30日に供用となりました。

また、災害時の代替輸送を可能にする「命の道」と位置づけ、約9割に当たる320キロが2020年度までに開通する見通しとのこと。登米市にとって、より行きやすく、車で走ってみるととてもいい眺めです。

そして今、市民皆さんにとって一番の関心事は、東京五輪のポート、カヌー競技会場に「長沼ボート場」が選ばれるか

どうかではないでしょうか。賛否両論があり、結論はまだ出ないようですが、その行方目が離せない毎日です。

(工藤淳子)

### 広報広聴委員会

- 委員長 佐藤 尚哉
- 副委員長 氏家 英人
- 委員 熊谷 和弘
- 日下 俊
- 佐々木幸一
- 工藤 淳子
- 伊藤 栄
- 二階堂一男
- 八木しみ子

- 議長 沼倉 利光